



Handsome

Handsome CONTENTS

October 2015

NETSU
LINK TO THE FUTURE

2015.10 No. 321

巻頭記事 9月例会開催

9月例会を終えて
政治行政委員会 委員長 浜田 貴稔

OB訪問
（株）ケンズホーム
遠藤 健司OB（第29期ご卒業）

県青中40周年year ～縁を紡ぐ～
鳥取県中小企業青年中央会
創立40周年記念ゴルフコンペ開催

特集 委員会活動報告

地域活性委員会
西部青年中央会野球部恒例行事
野球部送り出し会
第8回 ケヤキ通り祭り

連載
突撃!今晚の乾杯メニュー 副会長 山崎 慎也
地域への熱を語る 舛谷 剛
卒会者からの教え 県出向 三鴨 真樹
会員当てクイズ この人はだれだ!?

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松田 幸紀

編集責任者/担当 副会長 廣谷 栄一 制作・編集 41期広報委員会/委員長 権田 和志 印刷所/東京印刷(株)

～9月例会開催～ 鳥取県総合戦略 西部地区

平成27年9月14日(月)ホテルサンルート米子にて9月例会が開催された。



冒頭に松田会長の挨拶があり、飲食店を経営している会社の一部上場記念パーティに参加した時の話をされた。その会社の社長は病気により言葉を話す

事が困難となり、さらには人の支えが無くしては自力で立てない状態。それでも来賓を喜ばせる為に体を張ったパフォーマンスをされ、最後の挨拶では「自分が直接指導出来ない分、社員の為に一部上場の鐘を鳴らしたかった。自分が生きている限り日本の経済を支え、変えてみせる」と話された。その言葉に心を打たれ「どれだけの方が日本の経済を変えようか」と自問自答したと述べられた。

続いて、水野新入会員と向井新入会員のバッジ授与が行われ、水野会員から「45歳までの5年間を精一杯頑張りたい」向井会員は「自己研鑽を積み、地方の発展に貢献したい」と挨拶された。

委員長タイムでは、中央会発掘委員会内田委員長が担当され、PHP研究所よ

り雑誌のインタビューを受けたので、その雑誌を見て自分の仕事をみなさんに知って欲しいと話された。

例会は、講師に鳥取県西部総合事務所 所長 山根淳史氏を御招きし「鳥取県総合戦略からみる西部のこれから」というテーマで行われた。

第一部では地方創生に向けてと題して、鳥取県人口ビジョン(素案)で人口減少の危機、そして鳥取県の地方創生戦略(素案)では「住んで訪れて良かったと誇れる鳥取県」概要に①大いなる自然の恵みに生きる。②ぬくもりの絆に生きる。③ゆったり時を刻む時に生きる、この3つのテーマで話された。西部地区の地方創生として、人口や観光に至っては、平成の大遷宮による経済効果や大型クルーズ船での来客をどう受けるか、スポーツツーリズムの聖



地へ向けての活動などの話を熱く分かりやすく話して頂いた。

第二部では地方創生の事前アンケートを基に、長谷川(貴)会員、福山会員を交えてパネルディスカッション方式で行われた。山根所長は西部地区の魅力に関しては大山寺を含め大山の自然を挙げ、南部町をモデルにしてのCCRC地区実現への話をされた。雇用問題においては、学校との協定を結び若者の県外就職を防ぐと共に、県内企業の魅力をPRしていく事が大切である。今後必要な事は、メディアを上手に活用し地域情報の発信をしていく事であると話された。

まとめとして、浜田委員長から創生戦略とは地域のビジョンを考え、地域が発展をする為にどう動くのかを個人レベルで捉え一歩踏み出す事が地域創生に繋がる。我々企業・団体が先頭に立ち、熱を持って一歩を踏み出そうと話された。最後に山崎副会長より山根所長への謝辞が送られ、9月例会が閉会された。

(記事:新井)

9月例会を終えて

政治行政委員会 委員長 浜田 貴稔



政治行政委員会委員長の浜田貴稔^{たかとし}です。9月の担当例会では、鳥取県西部総合事務所の山根所長様をお招きして、「地方創生勉強会 ～鳥取県総合戦略からみる西部のこれから～」を開催いたしました。第1部では、鳥取県の総合戦略(素案)を中心に、様々な施策や取り組みについて、分かり易くご講演いただきました。また、第2部のディスカッションでは、政治行政委員会の長谷川貴久会員と福山会員に質問役になっていただき、事前に行ったアンケート結果を基に進めていきました。「地方創生について関心はあるが、よく内容が分からない」といったご意見がとても多く、中でも「観光」や「医療・福祉」が西部地域の強みだと思ふ反面、「就職・雇用」といった面がまだまだ足りないというご意見が多く見受けられました。「観光」「医療・福祉」「就職・雇用」のテーマ毎に、西部地域にちなんで取り組みについて、山根所長様に詳しくお話を伺いました。我々、青年経済人として地方創生にどう向き合えばよいか?という最後の質問には、「青年らしく、思いと情熱をもって、いろいろな事にチャレンジして欲しい」と力強いお言葉をいただきました。この度のアンケートでいただいた貴重なご意見は、次回の事業に繋げていきたいと思ひます。ありがとうございました。

県青中40周年year
～縁を紡ぐ～

鳥取県中小企業青年中央会創立40周年記念ゴルフコンペ

第41期、40周年記念事業実行委員会、委員長をさせて頂いております、西部の村田博です。まずもって、鳥取県中小企業青年中央会・創立40周年記念事業ゴルフコンペ、ならびに表彰式・懇親会にご参加、ご尽力頂きましたOBの皆様、事務局の皆様、現役会員の皆様、大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

ゴルフコンペ当日は天気にも恵まれ、メンバーの先輩方にも大変恵まれ、とても気持ち良くプレーをさせて頂きました。トラブルも無く、無事ゴルフコンペを終える事ができましたのも、皆様のお力添えがあったからこそだと思います。

そして、夕方からはホテルサンルートさんで表彰式・懇親会



が開催されました。初めは皆様、緊張された様子でしたが、お酒を酌み交わしていくうちに会場はヒートアップしていきました。表彰式あたりにはボルテージマックス！

第41期、牧田県会長は【縁を紡ぐ】というテーマを掲げられました。この度の記念事業ではそのことが実践できたのではないかと考えております。

OBの皆様、東部・中部・西部の会員の皆様の垣根を越えた益々の親睦が深まります事を切に願っております。

【成績】優勝：赤江圭吾会員(西部) 2位：西田誠一会員(東部) 3位：松下祐樹会員(中部) 4位：堀田収OB 5位：小椋崇永会員(西部)

(記事：村田)



西部青年中央会野球部恒例行事

野球部送り出し会



西部青年中央会野球部の恒例となっている、卒会者の送り出し会が「大連」にて開催され、現役野球部員とかつて野球部に所属されていた先輩方が一同に集まった。今年卒会された廣山・有和両先輩を祝い、また松田会長と牧田県会長を励ます会とも題し、盛大に行われた。



まず、昼間に開催されたゴルフコンペの表彰式が行われ、見事に優勝された徳中OBが長谷川専務理事より表彰された。その後も松田会長・牧田県会長の挨拶から廣山・

有和両先輩の挨拶へと進み、特に廣山先輩の「仕事での転機を迫られた時に中央会の皆さんに背中を押して頂いた」というお話には心を打たれるものがあった。



また両先輩からは記念品としてキャッチャー防具一式を頂き、現在正捕手の野口浩一会員が受け取りその場で装着し、会場を沸かせた。

松田監督・今川キャプテン・森下事務局長の新体制も発表された野球部。先輩方が口を揃えて言われた「野球が下手でもいい。『野球が好きだ』というひとつの共通点から腹を割って語り合い、絆を深めてほしい」その思いの元、伝統の野球部の活動は続いていく。

(記事：山内)



【委員会活動報告】

単独で行う継続事業開催に向けて 地域活性委員会

強力メンバーで立ち向かう新たな挑戦

地域活性委員会は、文字通り鳥取県西部地区を中心とした地域活性を狙いとし、西部青年中央会単独で行う継続事業『TSCフェスティバル(仮)』を企画・開催することを目的とする委員会です。開催時期は平成28年4月で、当委員会ではこれを目指して1年間活動していきます。完全に新しい試みである上に、単年事業ではなく今後「中央会単独で継続していける事業の企画立案」ということで、他の委員会とはやや異なる活動方針を持った委員会となります。

肝心の事業内容につきましては、「会員以外も参加できる地域を巻き込んだお祭り」になること以外は、まだ輪郭もぼんやりとしている状態ではありますが、松田会長より与えられた事業目的の大きさや重要性もあり、委員会では何としてもTSCフェスティバルを成功させようと盛り上がってきています。

その当委員会のメンバーは松田会長をして、『新鮮さの欠片も感じない』と評される顔ぶれですが、ベテラン会員や役員経験者が揃っており、緩さと鋭さが共存する独特な雰囲気委員会となっております。

8月の担当例会も終えまして、これから来年4月に向けて委員会一丸となって活動に邁進してまいります。何卒TSCフェスティバルをよろしくお願い致します。



OB訪問

株式会社 ケンズホーム 遠藤健司OB (第29期ご卒会)



足立耕太郎OBにご紹介いただき、遠藤健司OBの株式会社 ケンズホームにお伺いしました。

OBは卒会されてから『健康づくり』に目覚められたと有名です。ホノルルマラソンをはじめ、大阪・東京、果てはしまなみ海道100キロマラソンまで完走されました。

楽しかった思い出は、朝日町に行く機会が多く友達もたくさんできたことだそうです。楽しい思い出の中にも、「10歳近く年上の先輩と接し、怒られたり教わったりする機会は青年団体ならでは」と懐かしそうに言われました。

例会で印象に残っていることは、「当時まだ馴染み薄かったM&Aや新会社法など役に立つ話が聞けたし、(普段教わらない)決まり事やマナーを教えてもらった。これをきっかけに株式にしようと思い立った。委員会も含め、会からかなり影響を受けた」と言われました。

委員長の経験談はという問いには「さすがによくおぼえてない(笑)まだ会員数の多い時代だけど、出席率は気になったね。メールも普及してなかったからとにかくアナログ。FAXで案内して、到着確認の電話して、連絡のない会員にはまた電話した。アナログも大事にしてほしい」との事でした。

最後に、会員数減少について「中央会ならではの特征が必要で、より企業に役立つ勉強をすべきだと思う」とのアドバイスを頂きました。

見事に体を絞られたOB、ナイスミドルでした！見習いたいです。ご多忙中取材に快く応じて頂き、ありがとうございます！

(記事:桑本)



卒会者からの教え

「中央会とは進化のトリガーである」

三嶋 真樹 県出向理事
(平成23年11月入会)

山頂にまた山あり。誰にも理想と現実のギャップがあり、それを成長の糧にしています。成長と共にその山は、少しずつ高くなり、複数見えるようになります。

大きな山を目の当たりにすると、現状に甘んじ、登るのを諦めてしまう時があります。経験が足りない、自信が無い、お金も無いなど諦める理由はいくらでも挙げられます。中央会入会前の自分が、そうであったように思います。

私が中央会で得た貴重な財産は、現役・OB会員の皆さんの道程を会話の中で聞けた事であり、それぞれの理想とする山を沢山見られた事です。それは、自身の進化のための活動が不足していた事を気付かされ、焦りを感じさせてくれました。中央会は、現状を良とせず、次の進化のトリガーとなる貴重な場であると思います。



舛谷 剛 会員 地域への熱を語る

皆様はじめまして 米子市角盤町にて【社会保険労務士事務所】を運営しております。

労務管理・労働社会保険の手続きや給与計算をさせていただいています。また、癌やうつ病などにより、日常生活に支障が出た方の障害年金の手続きも代行させていただいています。

自宅は旗ヶ崎。そこから毎朝5時に起き事務所へ。ダイエットの目的でウォーキングや、少々愈けて自転車で大回りをしています。そこで必ず立ち寄るのが【湊山公園】。

公園でのひと時に缶コーヒーを飲み、一服し、ボーッとした後、いつもの方に挨拶し、頭をリセットし一日がはじまります。また、うちには子供が三人いますが、自宅から近いこともあって、走り回ったり、児童文化センターで絵本を読んだり、城山の360°のパノラマ風景で興奮したりしながら、湊山公園と共に成長しています。

更に聞くとよければ、四層五重の天守閣と四重櫓という大小2つの天守が、華麗に連なり、「一国一城令」の下「支城」と呼ばれる城のなかでも、このような天守をそなえたものは全国でも稀だったという米子城跡。

「健康作りの場所」「子供の成長の場所」「そして米子の歴史を知る場所」と三拍子揃った公園へ、今一度出向かれてはどうでしょうか？ 運がよければ、ボーッと私に出会えるかも(笑)



突撃！ 今晚の乾杯メニュー

【第2回】山崎 慎也 副会長



ちょっと前になりますが、いろいろな方から勧められ、少し高いけど奮発して買ったル・クルーゼの鍋で今日は家族でおでんです。この鍋、奥様の料理も一層美味しい料理になるので奥様へのプレゼントにいかがですか？ お勧めです！

我が家は女の子2人なので、料理も少しずつですが手伝っているみたいです。

何を書いて良いのか分かりませんが、奥様への日頃の感謝の言葉をという事ですので、この場を借りて少々恥ずかしいですが、今年から長女が中学生になり、少しずつ手が離れるとともに部



活が始まり生活も若干変わってきました、朝早くからお弁当を作り、娘を送り出し、2人の子どもの習い事の送迎等、毎日忙しい日々を送っています。そんな忙しい中でも、毎日美味しい料理を作ってくれてありがとう！ 帰りも遅く家に居ないことも多いので、安心して家を空けられるのもホント奥様のお陰です、本当にありがとう！



Q&A 会員当てクイズ
 **この人はだれだ!?**



(本人よりひとこと)
 この写真は私が保育園児のときの運動会でのひとコマです。運動会の記憶は全くありませんが、保育園が当時住んでいた家の隣に在り、毎日のようにこの場所で遊んでいた記憶があります。それにしても、今の私からは想像できないくらいカワイイですね・・・。

答えはホームページをCheck!!

 **第8回 米子ケヤキ通り祭り** 

「第8回米子ケヤキ通り祭り」が8月19日(土)、鳥取県米子市東福原8丁目の米子産業体育館駐車場で開かれ、7千人弱の人出でにぎわいました。メインイベントの「キャンドルナイト」は、水面に広がる波紋をイメージ。6千個のろうそくに火がともされると辺りは幻想的な雰囲気に包まれ、来場者は揺れるあかりを見つめていました。

元々この祭りは国道431号沿いの事業所で作る「米子ケヤキ通り振興会」が、地域振興と住民の交流を目的に開催。今年は米子がいな万灯の演技やダンスなどステージイベントをはじめ、屋台コーナー、フリーマーケットなど盛りだくさんの催しが行われ、中には当会OBの姿も見受けられました。また手作りちょうちんを手にケヤキ通りを歩く「ナイトウオークラリー」もありました。

イベントの企画から、設営・屋台・キャンドルナイトなど実行委員会を中心に約130名のボランティアで行い、当会所属の会員も実行委員会として祭りを運営しました。あいにく今年は県中のゴルフコンペと同じ日に開催されたため、当会からの参加者は少なかったですが、来年以降は皆様ぜひお越しください。

(記事:永井)

 **ダイエット企画経過報告!**
 スタートから1ヶ月…まさかの!?

先月より、ダイエットに挑戦して1ヶ月が過ぎました。私、森下は食生活を外食から自炊に切り替え、野菜中心の食事をしております。

…が、結果は1.5kg増量してしまいました。現在97.5kg、効果はこれからだと信じて、頑張ります。

(記事:森下)



ある日の夕食…食べ過ぎでしょ…(×△×)



10月役員会報告

10月役員会が平成27年10月1日(木)米子市公会堂集会所1にて開催されました。主な議題は以下の通りです。

- 当日の主な議題は以下の通りです。
 ・9月例会報告の件 ・10月例会開催の件
 ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

10月例会案内

と き:平成27年10月15日(木) 19:00~21:00

ところ:ホテルサンルート米子

内 容:「先人からの学び」～過去事業と人材の発掘～

担 当:第41期 中央会発掘委員会

編集後記

広報委員会として3回目の編集会議。少しは慣れてきましたが、記事にミスが無いが真剣に文字を追っています。その確認を経てハンサムの記事となり、写真も数多くある中から抜粋され掲載されます。そして記事の内容とドンピシャな写真を見つけた瞬間が編集会議の醍醐味です!
 (渡邊 公平)

(政治行政委員会)

水野 孝一 A型 代表
 ステッカー工房
 看板業・車輛ラッピング業
 〒684-0043 境港市竹内町300番地
 TEL 30-3991 FAX 30-3991
 (KT) 080-1103-8152
 (EM) sticker-at-miz12345@movie.ocn.ne.jp
 S 50.12生

(コメント) 境港市で看板業を営んでおります。主に車輛系のラッピングや企業様の社名を車に貼る仕事と看板全般(営業からデザイン・施工まで)をしております。会社としても個人としてもまだまだ未熟ですが、諸先輩方から多くの学び、今以上にスキルアップを目指し、日々奮闘していきたいと思っております。まだ、入会して間もない私ではありますが、あと5年間という短い年月を皆様とともに頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

(ビジネス経営委員会)

向井 幸紀 O型
 鳥取銀行 支店長代理
 銀行業
 〒683-0802 米子市東福原1丁目1番15号
 TEL 33-1441 FAX 39-0158
 (KT) 090-7777-7326
 (EM) bbex240054@excite.co.jp
 S 55.04生

(コメント) 米子生まれ、米子育ちです。鳥取銀行で法人営業を担当しておりますが、「地域発展なくして銀行ビジネスは成り立たない」ということを痛感しています。自己研鑽に励み、生まれ育ったふるさとへ少しでも貢献できたらと思います。

〈新入会員〉